

学校教育目標

自立貢献

～自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒の育成～

スクールミッション

小中連携教育を基盤とした確かな学力の育成

学校経営目標

「自立貢献」・・・社会に役立ち、自立することのできる人材を育成する

- 自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することのできる生徒を育てる。
- 教育のプロとして、常に研究と修養に努め、高い倫理観と豊かな人間性を身に付けた教職員となる

めざす生徒像

- 自己を認識し、自分の将来の夢や目標を持つことのできる生徒
 - 規範意識を身に付け、向上心を持ち、自ら学ぶ意欲的な生徒
 - 自他を大切にできる生徒
- 〔具体的目標〕
- ・時間を守る ・規則を守る ・挨拶をする ・大きな声で返事ができる
 - ・自分のことを語ることができる ・自分の夢や目標が言える
 - ・夢の実現や目標達成に向けて計画を立てることができる。 ・自分も他者も大切にできる

めざす学校像

- ・授業改善と積極的な生徒指導、組織的な学校運営を行い、主体性と創意工夫により、質の高い教育を提供できる学校
- ・地域との連携により人的・物的資源を生かした活動を行うことにより、地域に開かれ、保護者・地域と相互に高め合う、安心・安全な学校

めざす教職員像

- ・教育のプロとして生徒の可能性を伸ばす熱意を持ち、新しいことに挑戦する教職員
- ・高い倫理観と豊かな人間性を持つ教職員
- ・教育公務員、また組織人としての自覚を持ち、協働して職務を遂行できる教職員
- ・社会や子どもの変化に柔軟に対応し、グローバル社会に対応できる教職員

教育研究の推進

研究主題 豊かな関わり合いのある授業の創造
～ 思考場面における「学び合い」の充実を通して ～

【確かな学力の育成】

- ・「主体的、対話的で深い学び」の視点から、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視し、豊かな関わり合いのある授業改善
- ・自ら学び、自ら考え、表現する力の育成
- ・自己を認識し、自分の人生を選択し、表現する力の育成
- ・個に応じたきめ細かな指導の工夫・充実
- ・小中連携を活用した授業改善
- ・学ぼうとする意欲や雰囲気のある集団
- ・「書く」活動と「話す」活動の充実

【健やかな体の育成】

- ・基本的生活習慣の確立
- ・三点固定（起きる時間・家庭学習の時間・寝る時間）の推進
- ・家庭学習の習慣化
- ・食育と安全教育の充実

【育成を目指す資質・能力】

- ・情報活用能力（情報を適切に活用することができる）
- ・コミュニケーション力・表現力（人やものとつながることができる）（自分を表現することができる）
- ・やり切る力（最後までやりきることができる）

【豊かな心の育成】

- ・「時を守り、場を清め、礼を正す」の奨励
- ・生徒会行事や縦割りの集団活動の充実
- ・道徳教育やボランティア活動の充実

信頼される学校

- 小中連携を深め、9年間の系統的な指導の取組を充実させ、学力向上・体力向上、豊かな心の育成を図る
- 生徒が安心して学べる環境づくりに向け、組織的な生徒指導体制を推進する
- 教職員の資質・能力の向上を図り、組織的な学校運営体制を推進する
- 学校教育の積極的な情報発信と学校、家庭、地域が一体となって教育を進める開かれた学校づくりを推進する